

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立神津小	学校	児童数	48
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.12	17.58	36.69	34.73	47.50	9.25	128.58	18.60	50.40
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.39	18.50	46.56	32.56	36.78	9.97	116.61	11.18	50.12
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

新体力テストにおける児童アンケート「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目では、肯定的に回答する男子の割合は、100%であった。ただ、運動をどれだけしているかを表す「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は17.4%で大阪市・全国平均を下回った。また、体力合計点も大阪市・全国平均を下回った。この結果から、男子は運動やスポーツをすることは好きな割合が多いが、運動する時間が少なく、運動能力が低くなっていると考えられる。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で女子の肯定的に回答する割合は、72.2%で大阪市・全国平均を下回った。「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は44.4%で大阪市・全国平均を下回り、体力合計点も大阪市・全国平均を下回った。この結果から、女子は運動やスポーツがあまり好きではない割合が多いことから、運動する時間も少なく、運動能力が低くなっていると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、5年前から継続して体幹を鍛えることでけがの防止や集中力向上をねらいとするオリジナルの「神津体操」を行ってきた。新体力テストを実施した6月上旬までは、運動会の練習などで体力保持・増進の機会を十分に取ることが難しかった。2学期以降は、基礎体力向上をねらいとした「なわとび週間」「かけあし週間」「竹馬週間」などを学校全体として取り組み、子どもたちが楽しく意欲的にがんばる姿を多く見ることができた。学校教育アンケート「学校ではよく身体を動かしていますか」の項目では、肯定的に回答する児童の割合は昨年度を上回った。身体を動かす児童が増えたことで、基礎体力が付き、来年度以降の体力合計点向上が期待できる。また今回の結果から、立ち幅跳び、反復横跳びが平均を大きく下回っていることがわかった。立ち幅跳びに必要な下半身の瞬発力、反復横跳びに必要な敏捷性を鍛えていく。体育の授業の中で、意欲的になわとび運動に取り組んだり、加速・減速・方向転換を伴うステップ運動をたくさん取り入れたりしていく。